

2024 年 11 月 6 日

2021 年に岐阜大学医学部附属病院で糖尿病教育入院を受けられた患者さんへ

「岐阜大学医学部附属病院における糖尿病教育入院後、 地域連携パスの有効性に関する研究」への協力をお願い

第 3 内科（糖尿病代謝内科／免疫内分泌内科）では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2021 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日の間に当科において、教育入院を受けられた方で以下に合致する方が対象です。

- 2021 年 1 月 1 月から 2021 年 12 月 31 日までに当科に教育入院した 18 歳以上の糖尿病患者さんで教育入院パスをうけられた方
- 性別は問いません
- 退院後、2 年の当科継続通院歴がある方

除外基準として、以下の方は対象に含まれません。

- 化学療法を受けている方
- 高度の貧血などにより HbA1c を用いた血糖マネジメントの評価が困難な方
- その他、医師の判断により対象として不適当と判断された方
- オプトアウトにより情報の利用の拒否を申し出た方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2025 年 9 月 30 日

研究目的・方法：

糖尿病は高血糖の状態が慢性的に続くことで神経、眼および腎を代表とする合併症を発症し、生命および生活の質（Quality of Life: QOL）を著しく損なう疾患です。定期的な合併検査や栄養相談を受けることが望ましいとされていますが、2021 年における日本の糖尿病人口は 1100 万人と推定されており、さらに増加することが推測されています。よって、すべての患者さんを多職種で構成された糖尿病診療チームおよび検査設備の整った総合病院で診療を行う事は難しく、また、通院の負担も大きくなります。当院では 2010 年から「岐阜糖尿病地域連携パス」を運用し、地域の先生方と協力して患者の通院継続、合併症の早期発見、予防に努めてきました。当院における地域連携パスが糖尿病の血糖マネジメントに有用であるかを評価するためにこの研究を行うことといたしました。

本研究の成果を学術集会や論文で発表することにより、地域連携パスを利用しながら血糖マネジメントをより良くする方法がわかるようになり、当院に通院中の方だけでなく、全国の糖尿病患者さんの治療に役立てることが出来ます。

研究に用いる情報の種類：

年齢、性別、一般身体所見、身長、体重、BMI、体組成、糖尿病歴、初回入院の有無、再教育入院の有無、病型、既往歴、併存疾患の有無、ステロイドの使用の有無、糖尿病治療薬の情報、栄養相談回数、血液検査結果（HbA1c、Hb）、尿検査（蛋白、糖）、握力について、2021年1月1日～2023年12月31日の電子カルテのデータを利用して使用させていただきます。これらはいずれも日常診療によって得られた項目です。

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：2024年11月8日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。

また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。

また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 第3内科（糖尿病代謝内科／免疫内分泌内科）

医員・大学院生 堀谷 愛美

〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸1番1

岐阜大学医学部附属病院 第3内科（糖尿病代謝内科／免疫内分泌内科）

Tel：058-230-6377

Tel：058-230-6000（夜間・休日）

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 第3内科（糖尿病代謝内科／免疫内分泌内科）

准教授 廣田 卓夫

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸1番1

Tel：058-230-6059

E-mail : rinri@t.gifu-u.ac.jp